

□議員名：藤岡 修美

1 山口東京理科大学の理域連携、地域貢献について

論点	公立大学に求められる地域連携、地域貢献について聞く。
回答	学生がボランティア活動やイベント活動に参加することで、若者のアイデアや行動力によってまちが活性化する。また、地域の知の拠点として、学術的知見を生かし、これまで地域に存在しなかった新たな価値を創造し、地域を開発することが期待される。

論点	公立大学が地域の課題の解決に取り組むには、設置団体と大学のトップの協議が必要だが、本市ではいかがか。
回答	副市長は大学の理事長、事務部長と定期的な会合を持って情報交換を行ない、結果を市長に報告している。また、定期的に開催される大学の理事会や経営審議会で、市長と理事長の協議をしている。

論点	大学と市の関係強化、情報共有のために、大学と市の各部局の定期的な協議の場が必要と思うが本市はいかがか。
回答	市と大学で連携に関する協定を締結しており、それに基づき連絡協議会を年2回開催して、独自事業の決定や連携に関する取り組みについて協議しているが、今後さらに連携を強化するための方向性についても協議をしていく。

論点	大学の専門性が生かせる分野以外、理科大でいえば、薬学や工学以外の部門の総合的な施策課題についての連携はどうか。
回答	大学の教授が市の各種審議会の委員等に就任している。また、学生が地域の祭りやボランティア等に参加をしている。 その他にもあると思うので、連携協議会を中心にして、また今後も協議していきたい。

論点	山陽小野田市公立大学法人評価委員会による山口東京理科大学の評価報告書について聞く。
回答	公立大学法人が策定した中期計画及び年度計画の実績について、公

	立大学法人が行った自己点検、評価を山陽小野田市公立大学法人評価委員会が評価をしたもので、平成28年度の中期計画の進捗はおおむね順調であるという評価結果となっている。
--	------------------------------------------------------------------------------------

論点	公立大学協会の会員の大学が相互に評価を行い、その結果を自己点検評価に反映する大学評価ワークショップはいかがか。
回答	山口東京理科大学は公立大学協会の会員なので、大学評価のワークショップについても、検討していきたい。

論点	薬学部の新設による山口東京理科大学の地域連携、地域貢献の今後の展望について聞く。
回答	薬学部の知見をいかし、地域の命を守るためのセーフティネットをしっかりと確保することが期待される。市は健康長寿社会を目指しているが、その第一歩として今年度、健康をテーマとしたフォーラムを、山口東京理科大学と協働で開催する。

論点	3月議会で薬学部の設置に伴う大学の中期目標の変更が議決されたが、この新設による中期計画あるいは年度計画の変更はあるか。
回答	薬学部の内容を盛り込んだ中期計画、年度計画については、4月に赴任した薬学部の教員の意見を聞きながら、中期目標に基づいた中期計画、年度計画の策定に向けて変更の準備を進めている。

2 市民活動支援センターの状況について

論点	センターによる市民活動に関する情報提供、普及活動の取り組み状況がどうなっているのか聞く。
回答	市民活動に関する情報の収集及び提供、相談、研修、講座、市民活動に関する調査及び研究の事業を行っていく。既にホームページで各種助成制度を紹介しているが、市民活動団体の登録を行い、活動内容の紹介などの情報を発信していく。

3 東京2020参画プログラムの取り組み状況について

論点	東京2020参画プログラムのその後の取り組み状況について聞く。
----	---------------------------------

回答	4月に認証を受け、市内で行われるさまざまな行事やイベントのチラシやポスターに東京2020の応援マークを活用することで、市全体に東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催機運の輪が広がることを期待する。
----	------------------------------------------------------------------------------------------------------------